

会 議 記 録

作成部局課名 真田地域自治センター 地域振興課

開催日	平成 20 年 5 月 14 日(水)	開催時刻	19 時 00 分から 21 時 15 分
会議名	真田地域協議会 (平成 20 年度第 2 回)		
出席者	委員 18 名(欠席者 2 名)		
市側出席者	小市センター長・センター全課長・高橋地域交通政策課長・田中地域交通係長・羽毛田主任・渡辺地域振興課長・塚田地域政策係長・武捨主査・宮島主査		
傍聴者	3 名		

会議次第

- 1 開会(佐藤副会長)
- 2 会長あいさつ(清水会長)
- 3 センター長あいさつ(小市センター長)
- 4 会議事項

(1)上田市公共交通活性化プランについて(担当課：地域交通政策課)

【説明要旨】

長野県上田地域における公共交通活性化プランの概要について
(説明後、各委員にアンケート用紙の提出を求める。)

【主な質疑・意見、回答】

(委員)傍陽線は、浅間サンライン経由の運行プランとなっているが、詳しく知りたい。
また、真田地域のふれあいバスの運行は具体的にどうなるのか。

(地域交通政策課)傍陽線の浅間サンライン経由は1日4往復を検討しているが、今後バス会社との調整が必要になる。現在のふれあいバスは、老人センターの送迎バスになっている。途中で乗り降りできる循環バスとなるよう1年をかけて、地域のご意見を聞きながら実現に向けて調整していきたい。

(委員)バスの運行プランの議論も良いが、住民に公共バス利用を促すアピールが大切。

(地域交通政策課)住民にバス利用をアピールする妙案があれば、提案いただければありがたい。

(委員)高齢者は料金を半額にできないか。他市では100円バスというのがあると聞いているが取り入れられないか。料金が高いのでバス利用しない人が多いのではないか。

(地域交通政策課)バス会社はあくまでも営業。全国各地で100円バスが運行されているが、結局のところ料金100円以外の部分は市が負担することになる。現在、公平な受益者負担の面でも各地で見直しが行われている。

高齢者に対しては何らかの配慮を市として検討していく。

(委員)利便性からフリー区間(乗降)の設定とデマンド方式を選択肢に入れて検討いた

だけないか。

(地域交通政策課)フリー乗降については、傍陽大倉間をバス会社で検討しており、実現は可能のようだ。真田線についてもバス会社に検討を依頼したい。デマンド方式については、地域自治センターと相談しながら今後進めていく。

(2)真田地域に係る平成20年度当初予算の概要について(真田地域自治センター全課)

【説明要旨】

- ・市全体の予算説明
- ・真田地域の主な事業・予算について
～センターの各課長から説明～

【主な質疑・回答】

(委員)地域内の学校にAEDが数台入ると聞いているが何処に入るのか。

(教育事務所)今年は真田中学校と菅平小中学校に入る予定。

(委員)真田地域の予算というのは、全市の中で人口割りの配分がされているのか。

(センター長)合併時の調整により4市町村の特色ある事業を残すなどして、できるだけ地域サービスが低下しないよう編成している。何でも人口割りになっているわけではない。

(委員)旧真田町では小中学校毎に一定額を交付(補助)する制度があったと思うが新市では廃止されたのか。

(教育事務所)各学校での特色ある事業に対しては、教育委員会全体で予算化されている。今までのくらの予算が各学校に配分されます。

(委員)図書館整備の基金が3億円あると聞いているが、この予算概要に載っていない。

(教育事務所長)まだ、決定されていない事業については当初予算としては計上されない。

(3)わがまち魅力アップ応援事業について

【説明要旨】

- ・わがまち魅力アップ応援事業の概要及び選考要領について(地域振興課)

【主な質疑・回答】

(会長)個性あるふるさとづくり応援事業は、自治会の総意により行われる事業で、特段の問題がなければ、協議会としても採択の意見を述べるとされていることから、自治会のプレゼンテーションは省略しても良いのではないか。

(委員)個性あるふるさとづくり応援事業は、原則認める方向でよいのではないか。もし問題のあるような案件があった場合については、そこで議論すればよい。

(会長)個性あるふるさとづくり応援事業については、申請自治会のプレゼンテーションを省略し、事務局による概要説明としたいがよいでしょうか。

(全委員)賛成。

(3)真田地域図書館施設整備について(担当課:真田教育事務所)

【説明要旨】

- ・図書館施設整備に係る今までの経過
- ・『真田地域における図書館整備に係る意見公聴 集約』について

【主な提案・意見等】

(会長)真田地域に図書館を整備することは決まっていること。協議会としては、今までの協議経過や公聴会の意見について、各委員が共通認識を持った上で、現実を見つめて議論する必要がある。次回は集中的に図書館の整備について議論したいので、昼間に協議会を開催することを提案する。

(委員)図書館整備については非常に重要な場面を迎え、その責任を負うのは地域協議会である。会長からの提案のとおり集中的に議論する場が必要である。

(会長)次回は特に異論が無ければ、図書館問題に主眼を置いて昼間に議論したいと思います。よろしいですか。

(全委員)賛成。

5 その他

次回の開催について(事務局)

次回は、6月中旬の昼間に協議会を開催します。

6 閉会(佐藤副会長)